

三井業際研が3部会開く

総合、社会、技術で講演会など

三井業際研究所(北山嶺介運営委員長)三井住友銀行特別顧問の社会部会鈴木慎部会長(三井物産副社長)は、一月二日、東京丸の内三井物産本社で第一回社会部会を開催した。部会後は外務省出身で前ロシア大使の三井物産・原田親仁顧問を講師に招き、ロシア情勢を巡る講演会を実施。各社の社会部会や社会企画委員など、三〇名が出席し、熱心に耳を傾けた。一月下旬には総合部会技術部会も開かれ、講演や施設見学が行われた。

ロシア、朝鮮半島情勢や三井化学施設見学

業際研の各委員会を率い、三部会のうち、社会部会では鈴木部会長の挨拶の後に、ロシアに精通する原田氏が「ロシア情勢と日露関係」と題して講演。時代功績などを紹介し、ロシア情勢と日露関係について講演する原田顧問、講演会の模様(三井物産本社)



④ロシア情勢と日露関係について講演する原田顧問、⑤講演会の模様(三井物産本社)



社会部会にて挨拶する鈴木部会長(三井物産副社長)

「元KGB将校なので猜疑心や敵・味方思考が強い」とした上で、「ソ連崩壊は二〇世紀最大の悲劇と評したほどで、プーチン大統領の根底には強い愛国心と大國ロシアの復権がある」と強調した。また、来年行われる大統領選に「高い支持率と対抗馬がないことから再選はまず間違いない。再選されれば任期は二〇二四年まであり、軍事力の行使も含め、ロシアの権威・権益の拡大を図ると論じた。

その上で領土問題をはじめとする日露関係を分析。クリミア併合の対露制裁を例に、「欧米との協調路線を維持しつつ、日露関係を進展させるには信頼関係が必要。ロシアにとって日本との領土問

1月の創立記念日(二木会・月曜会)

<17日>

◇(株)IHI 明治22年(設立年)
※創業は嘉永6年12月5日
満岡次郎社長
〒135-8710
東京都江東区豊洲3-1-1 豊洲IHIビル

<19日>

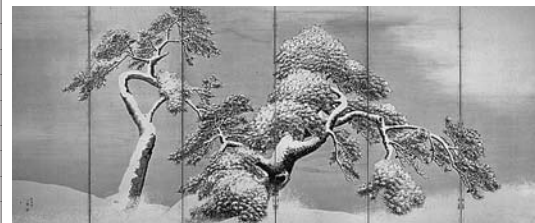
◇三井化学東セロ(株) 昭和4年
藤牧義久社長
〒101-8485
東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル

<20日>

◇富士フィルムホールディングス(株) 昭和9年
助野健児社長
〒107-0052
東京都港区赤坂9-7-3

<25日>

◇三井松島産業(株) 大正2年
天野常雄社長
〒810-8527
福岡市中央区大手門1-1-12 大手門パインビル



三井記念美術館が所蔵する国宝「雪松図屏風」三井家が支援した。江戶時代の巨匠・円山晴れやかに飾る新春恒例の展示品として人気を博している。

「雪松図」は三井十一家のうち、総領家(北家)旧蔵のもの。左隻は写真④、右隻は同⑤に分かれ、一面の雪の中にきらめく光を照り返して屹立する松の姿を、墨と金泥と紙の白色のみで情感豊かに

描き出している。右隻には直線的で力強い老松、左隻には曲線的で柔らかな若松を配する。写生と装飾性を融合させた心算の新しい芸術は人々から称賛され、一世を風靡した。

平成二三年(二〇一)にはNPO法人・京都文化協会とキヤノンが推進する文化財未来継承プロジェクトにより、高精細複製品が制作・寄贈された。複製品は中学校の特別授業に利用されるなど、文化教育にも役立てられている。

今冬に開催の展覧会「雪松図と花鳥」では、来年一月四日から二月四日まで展示される。

三井百科

三井家に伝わる国宝「雪松図屏風」

三井生命保険(有末貞哉社長)が参画する災害支援プロジェクト「Guardian72」が一月一六日、スタートした。同日、三井生命はプロジェクト参画企業第一号として同プロジェクトの総合運営会社である(株)ミューチュアル・エイド・セオリーと「災害支援プロジェクト協定書」を締結した。

「Guardian72」が一月一六日、スタートした。同日、三井生命はプロジェクト参画企業第一号として同プロジェクトの総合運営会社である(株)ミューチュアル・エイド・セオリーと「災害支援プロジェクト協定書」を締結した。

「Guardian72」が一月一六日、スタートした。同日、三井生命はプロジェクト参画企業第一号として同プロジェクトの総合運営会社である(株)ミューチュアル・エイド・セオリーと「災害支援プロジェクト協定書」を締結した。

リオ・ブランコ国家勲章

三井物産・飯島会長が受章

三井物産の飯島彰己会長が、ブラジル政府から最高勲章の一つ「リオ・ブランコ国家勲章」を受章した。一月二九日、駐日ブラジル大使公邸で勲章授与式が執り行われ、ブラジルの国際関係に顕著な業績を残したブラジル国民および外国人に授与される。今年度は飯島会長のほか、日本人では緒方貞子勲章授与式の飯島会長(左)とコヘア駐日大使(右)が授与された。



飯島彰己会長(左)がブラジル政府から最高勲章を受章する様子(右)はコヘア駐日大使

氏(元国連難民高等弁務官、元国際協力機構理事)など四名が受章。過去には中曽根康弘元総理やカルロス・ゴーン氏、ビル・ゲイツ氏等が受章している。

飯島会長は、三井物産のブラジル事業での取り組みに加え、二〇一一年から経団連日本ブラジル経済委員会委員長として七回の日本ブラジル経済合同委員会を通じ、両国の経済関係の一層の活性化に尽力。さらに、両国経済界によるハイレベル会合と位置付けられる日本ブラジル戦略的経済パートナーシップ賢人会議(日伯賢人会議)での日本側メンバーの一員として、インフラビジネスを中心とした積極的提言などを通じ、日本とブラジルの間の「経済を通じた

Guardian72 災害支援プロジェクト始動

三井生命がミューチュアル・エイド・セオリーと協定書締結

三井生命保険(有末貞哉社長)が参画する災害支援プロジェクト「Guardian72」が一月一六日、スタートした。同日、三井生命はプロジェクト参画企業第一号として同プロジェクトの総合運営会社である(株)ミューチュアル・エイド・セオリーと「災害支援プロジェクト協定書」を締結した。



BOXの内容は6割決定



「Guardian72」が一月一六日、スタートした。同日、三井生命はプロジェクト参画企業第一号として同プロジェクトの総合運営会社である(株)ミューチュアル・エイド・セオリーと「災害支援プロジェクト協定書」を締結した。